

(様式1)

令和5年度 学校運営協議会自己評価表

浜松市立(瑞穂小) 学校運営協議会長

＜本年度の目標＞

- ・委員全員で様々な意見を出し合い、よりよい学校を目指していきたい。少しでも子供たちの健やかな活動につながることを目指したい。
- ・子供たち、先生方、保護者、地域の方々がお互いコミュニケーションをとりながら、いろいろな体験ができるよう、学校支援を考えていきたい。
- ・学校と地域との意思のバランスがとれていないと、良い取り組みができない。日頃、学校側で困っている事や協力を必要としている事を委員会の中でも明確にする。

＜評価項目1＞ 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

- ・「ひとみキラキラ」「ころほのぼの」「げんきモリモリ」学校運営の基本方針の内容について理解することができた。
- ・学校が目指す方針を理解し共有し、個々により良い方向への熟議ができた。
- ・教育に携わることの大変さや大切さをより感じた。そのうえで、地域の一員として何ができるか、何を考えていけばよいのかは、学びが必要だと思う。

＜評価項目2＞ 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

- ・花の会・福祉体験授業や裁縫授業補助など、確実に活動に広がりが出た。熟議ができた結果だと思う。
- ・地区社協や地域諸団体などのネットワークやボランティアの支援を通じ、支援活動はおおむね必要とする支援ができ、子供たちの体験づくりの役に立ったと思う。
- ・子供が学校生活の中で自分のよいところ、得意だと思うことを感じられるために取り出し授業やタブレットの使用、また、行事等を通して様々な経験ができるように活動していることはよくわかった。その中で、地域や保護者が関われることを実際に考え、実践することができた。

＜評価項目3＞ 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

- ・活動の広がり＝情報発信の結果だと思う。地域の仕事体験も大きな成果だった。
- ・委員が中心となって属する団体や自治会などの協力を得て地域へ情報発信をした。目標とした成果は得られたと思う。
- ・情報発信により、花の会のボランティアなど、地域の方々の協力を得ることができた。まだ十分な発信ができていないので、今後、もっと発信していければと思う。

＜評価項目4＞ 今年度の取組の評価を踏まえた来年度の目標（取組の重点）

テーマ「学校との連携」「地域への広がり」

- ・学校の状況をより理解した上で意見を出し合い、支援活動により、学校運営に少しでも貢献したい。
- ・学校教育目標にある「自分らしさを輝かせる子」が多く育つために、地域として何を考えどんな力を使えるか、子供のよりよい体験の手助けをするための熟議を協議会で進めていきたい。
- ・地域住民へ「コミュニティスクールとは？」について知ってもらう。